



2018年11月13日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ジ ー ニ ー
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 工 藤 智 昭
(コード番号：6562 東証マザーズ)
問 合 せ 先 管 理 部 長 中 島 文 樹
(TEL. 03-5909-8177)

業績予想の修正及び減損損失の計上に関するお知らせ

当社は、2018年11月13日開催の取締役会において、2018年5月11日に公表いたしました2019年3月期（2018年4月1日～2019年3月31日）の業績予想を最近の業績の動向を踏まえて修正すること及び、特別損失として固定資産に係る減損損失を計上することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2019年3月期（2018年4月1日～2019年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	20,054	729	712	505	30.68
今回修正予想 (B)	15,026	△400	△418	△625	△35.37
増減額 (B-A)	△5,027	△1,129	△1,131	△1,131	—
増減率 (%)	△25.1	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	14,380	527	467	63	3.84

(2) 修正の理由

売上高については、積極的な新規開拓を行ったことに加え、既存のお取引先様との連携強化したことにより前年同期比では上回って推移しているものの、事業環境の変化及び、当社取引先である一部のアドネットワーク事業者様の広告配信ポリシーの見直しにより売上の減少及び粗利率が低下いたしました。

また、技術開発等への積極的な投資として人件費の増加、本社事務所移転に伴い減価償却費（早期償却）等の販売費及び一般管理費の増加をカバーすることが出来ず前回公表数値を下回る見込みとなりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、固定資産について減損損失を計上したため前回公表数値を下回る見込みとなっております。

2. 固定資産に係る減損損失の計上について

2019年3月期第2四半期累計期間において、当社が保有するマーケティングオートメーション事業等に係る固定資産について、「固定資産の減損に関する会計基準」に基づく回収可能性を検討した結果、減損の兆候が認められたため、減損損失として171百万円を計上することといたしました。

以 上